

会 員 各 位

公益財団法人 協和協会

代表兼専務理事 清原 淳平

4月の月例会・部会・委員会の状況について

拝啓 桜花の候ながら、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染力が収まらず苦慮しております。

3月初めに、1月7日からの政府の「緊急事態宣言」が3月22日に解除されるので、新年度4月からは本格再開の方針でいたのですが、解除後のこの10日ほどの状況は、全国都道府県で感染率が高くなっており、また、国内でもイギリス型、ブラジル型、南アフリカ型などの変異ウイルスが増え、専門医たちも、第4次流行の恐れを危惧しております。

その後、政府から、いまのところ再度の緊急事態宣言は出ておりませんが、より強い自粛要請が出ており、判断に迫られます。そこで考慮の末、4月は、国会内でもチラホラ感染者が出ており、人数の多い集会の自粛要請もありますので、当財団も月例講話会の方は休会することにいたしました。

そこで、各種の部会や委員会ですが、そちらは、部会長、委員長の意向をうかがって決めることといたしました。いま、部会長、委員長と連絡をとっておりますが、開催するという部会・委員会については、いずれ御案内状を差し上げますので、それに属する委員の方はよろしく御願い申し上げます。

前便でも申しあげましたように、当「公益財団法人 協和協会」は内閣府の所管であり、妹団体の「時代を刷新する会」は総務省の所管であり、しかも、月例会・部会・委員会は衆参議員会館いずれかの会議室を借りて執行しておりますだけに、政府や東京都の方針を尊重せざるを得ず、私は執行責任者として、4月の月例会・部会・委員会は以上のように判断しました。何卒、御了承賜りますようよろしく御願い申し上げます。なお毎月寄せられる資料はその委員の方へ、送付させていただきます。

また、当財団は、岸信介元総理大臣によって創設された由緒ある法人であり、これら各種団体の執行を委嘱された清原は、岸信介先生の御薫陶・御指示を直に受けてきて、岸信介創立会長が傑出した人物であり、これほど、世間から誤解を受けている人物はいない、と痛感しておりますので、会員の方々に、当財団の創立精神を知っていただきたいと思い、この新型コロナ休会中に、昭和54年の本格活動以降に刊行していた当時の機関誌『提言』を、第1号から複製して御送付いたしましたところ幸い好評で、続けて読みたいとの要望が出ておりますので、今回は、その機関誌『提言』の第8号を複製して、本日ここに、御送付いたしました。御高覧いただけますれば、幸甚に存じます。

なお、ほぼ毎月、会員の皆さまには、新型コロナに感染されないようにと念願し、そうした資料をコピーして同封しておりますが、今回も、自粛要請に従っている間の健康維持方法につき、参考になる記事を見つけましたので同封いたしました。御参考にしていただけますれば幸いです。

以上、取り急ぎ、啓上にて

敬具